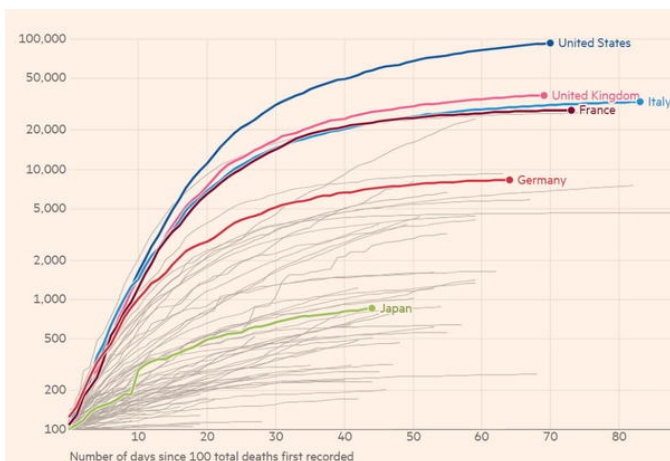


平素は、弊社商品にお取り組み頂き、まことに、ありがとうございます。

月間通信 6月号をお送り致しました。何卒、よろしくお願い致します。

ようやく緊急事態宣言も解除になりホッとしています。肉体的な健康問題だけではなく、経済的にも大変な影響を及ぼすことが判明したように思います。



このグラフは **The New York Times** が日々更新しながら **Covid-19** に拠る死者の数の累積を対数化したグラフです。対数化することにより傾向が見易いため、よく見ていました。

見づらいですが緑の線が日本です。メモリの綾でそんなに差が無いように見えますが、実際には人口比で英国の 100 分の 1 になります。何故、日本はこれだけ感染者数も死者の数も少ないのか、議論になっているようですが、それは誰も結論を出せないと思います。

私は国別に差が生じているのは、遺伝的な事由でも、生活習慣の問題でも、感染症に対して採択した政策の効果でも無いような気がしています。実際に日本は 4 月 7 日の緊急事態宣言以前の 3 月 27 日感染者数はピークアウトしていました。

我が国に於いても新型インフルエンザより、はるかに少ない感染者数にも拘らず、民間経済を犠牲にした

政治主導の方向性に、何か意図的な事由があるのではないかと想像しています。

日経バイオテクオンライン 5 月 7 日に『最短で 9 ヶ月、最長 2 年以内にワクチンが開発できる』と、ビル・ゲイツ氏がコメントしたと掲載されていました。という事は、今秋は更に厳しい状況が **Covid-19** によって到来すると覚悟した方が良いと考えるようになりました。

更に厳しいという状況をどのように捉えるかですが、私たちは経済活動に参加しているのではなく、経済活動そのものを行っていますので、感染者が社内が発生した場合は、相当に大変な影響を受ける事は間違いございません。

当社で言えば、事務系の作業者に感染者が出た場合は、既にクラウド化したデータを扱っていますので、リモートワークに切り替えれば業務を止めることなく継続できると考えています。しかし、商品出荷場で発生したとなれば、出荷を止めるしかございません。このような状況は弊社にとって命取りになってしまいます。

そこで、急ぎ今秋までに更に一ヶ所出荷場を設置することにしました。更に運転資金もイザという時の相当量の手当てをしました。基本的に今回は無事過ごすことが出来ましたが、次回は無事には済まない事を前提として備えをすることに致しました。

最近読んだ小説に『人は、自分の必要と希望を満たす能力さえあれば、未知を恐れることはない。私たちは持っているもの、それが命であれ、所有物であれ。土地であれ、それを失うことを恐れています。しかし、自分の人生の物語と世界の歴史が、同じ者の手によって書かれていると知った時、そんな恐れは消えてしまうのです』の一節がございました。

その通りかなと思いつつ読んでいました。自分が持ち得たものを失うことより、ひとに与えられることに重きを

置いて生きた方が、ずっと自由でいられるような気がしています。ひょっとすると事業もその延長線上にあるだけのようにも思います。

私どもの事業は、ひとが健康で生きて行くことが出来、健全な暮らしを立てられることを目標にして、その実現の一助になればと、微力をも省みず、積極的に貢献できることを願っています。



この書籍は、数年前私が行く歯科医院に置いてあった本を調べて取り寄せたものです。2013年の刊行です。「免疫力」とは今回のウイルス騒動で3月の月間テーマにしましたが、世間に溢れ始めると『いや、待てよ』と考え始めました。私なりの結論は、免疫力という力は無く、桶に貯まる水の嵩のようなものでした。

桶を構成する板、一枚一枚が健康を支える要素で、その一番低いところまでしか水が貯まらないように、免疫力とはそうした複合的な要素が集まった結果備わる『エネルギー』のイメージで、これは野菜栽培での肥培設計に似ています。

そうすると、普段の生活の在り方、そして食習慣という、ひどくつまらない結論に到達してしまいます。つまらないという事は、最も普遍的であり根本的でもあり、そして正しいという事のような気がします。

正しいという事は、例えば各国中央銀行が破綻しようが私たちは変わりなく、一人一人がデータ化されてワクチンを接種しているか否かを国から管理・監視されようとも変わりなく、生活習慣とコストの内訳を見直しながら、虚ではなく実のある食材を、タイムリーに、その場に適合した形で、提供して行く事にこそ価値があると思っています。

ただ、正しいことを正しくしているだけでは厭きが来てしまいますので、今計画していることを少し書かせて頂きます。

**Alphar's-Collection**      **Alphar's-Kitchen**  
**Alphar's-Movie** と来ました。

次は **Alphar's-Community** を計画しています。モデルはケチャップのカゴメさんです。消費者・農業従事者・小売りの方と私どもが一同に会して情報提供や交換が出来る場をインターネット上に設置したいと考えています。

私たち自身の活動としましては、薬膳料理教室や青果の勉強会の開催等をしなが、食生活に関するテーマの講習会企画です。これはもちろん有償ですが。

また、**カーブサイドピック・インスタカート**の青果物支援に、各パーツを組み合わせたキット商品化(受注処理から各家庭までの納品代行)、キットパーツ単体の支援を計画・御提案をスタートしています。

日常の営業につきましては、ようやく解除になりましたので、月一回の御訪問営業に加え、この間出来上がって来ました週一回の定期電話商談をスカイプに切り替え、商品等をリアルタイムでお見せする試みです。

様々な活動が出来ることに喜びを感じています。何卒、よろしく願い申し上げます。

吉田清一郎